

めをみてにっこり

ありがとう



じどうしつだより

5月号

No.460

阿久比町立図書館

48-6231

2024.5.1(水)

こころをこめて

ごめんなさい



ことばの本

5月18日はことばの日。ことばは人におもいをつたえる大切な手段です。
みんなはどんなことばで、だれに、なにを、つたえていますか？

『手話でつながる世界のあいさつ』

全国手話通訳問題研究会 作
見杉宗則 絵 え 378ミ



『知りたい おぼえたい』

季節をめぐる花言葉』

川崎景介 監修 児 627カ



『ことばの冒険』

酒井邦嘉 作
山田和明 絵

え 491ヤ



『絵くんとことばくん』

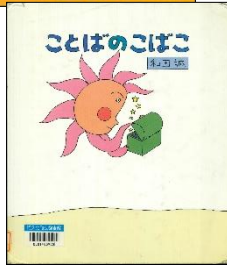
天野祐吉 作 大槻あかね 絵 児 726ア



『ことばのこぼこ』

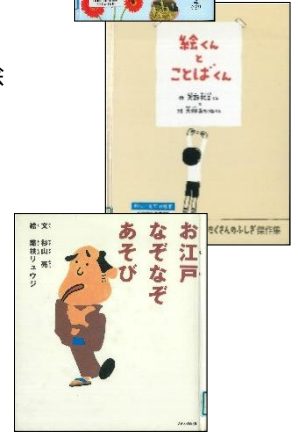
和田誠 作・絵

え 814ワ



『お江戸なぞなぞあそび』

杉山亮 文 児 798ス
藤枝リュウジ 絵

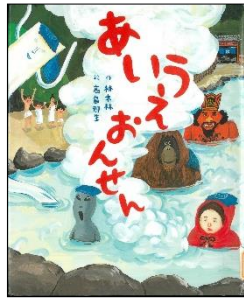


『あいうえおんせん』

林木林 作 高島那生 絵

え 913タ

あいうえおんせんは、そらと うみと
みどりに かこまれた ひがえりおんせん。
おとぎばなしの おんせんや、くうちゅう
おんせんなど、おどろきが いっぱいの
へんてこな おんせんを ごあんない。



『なんとかなる本』

令丈ヒロ子 著 浮雲宇一 絵

児 913レ

突然目の前にあらわれた「なんとかなる本」
には、「あなたは今、なんとかしたいことが
ありますか？」とだけ書かれていた。
大ピンチになってしまった5人の子どもの
相談を、コバの力で解決していきます。

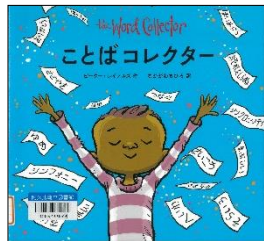


『ことばコレクター』

ピーター・レイノルズ 作
なががわちひろ 訳

え 933レ

ジェロームは ことばの コレクター。
耳に とびこんでくる ことば、目についた
ことばなど、あつめた ことばを たくさん
スクラップしていましたが、あるひ、
ころんで ぐちゃぐちゃに なってしまいます。



『目で見ることばで話をさせて』

アン・クレア・レゾット 作 横山和江 訳

児 933レ

メアリーが住む島では、だれもが手話で
話をしていました。メアリーは生まれつき
耳が聞こえませんでした。島では
いきいきと暮らしていました。ある日、
若い科学者が島の外からやってきて、
ある調査をはじめて…。



おはなし会

土・日・しゅく日
ごご 2:30~

展示ホール

メディコ阿久比 第25回
おじいさんおばあさんが
描いた書いた展
5/2(木)~5/19(日)

アトリエ彩々作品展
5/23(木)~6/2(日)

青空図書館

5/25(土)・26(日)
ふれあいの森
10:00~15:00

※状況により中止する場合があります。



あたらしい本



『おかねによukai?』 え 337 オ

おおのこうへい 作・絵
キッズ・マネー・ステーション 監修
ソラクンの まえに おかねの よukai
カネモンが あらわれた。ソラクんと
いっしょに カネモンが だす おかねの
チャレンジを して おかねのことを してみよう!



『みんなそれぞれ 心の時間』 児 141 イ

一川誠文 吉野晃希男 絵
「時計の時間」は、いつでもどこでも、
だれにとっても同じように進みますが、
「心の時間」は、同じように進むわけでは
ありません。時間とは何か、「心の時間」
がどのように進むのか、考えてみよう。



『いろ・いろ』 え 496 ナ

川端裕人 作 中垣ゆたか 絵
色は、目から入った光の情報を
脳が整理して頭の中のできるもので、
人によって、色の見え方がちがいます。
どんな色の見え方があるのか、進化の
歴史をふりかえりながら紹介します。



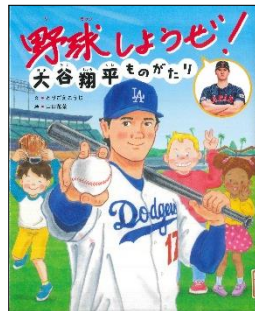
『土偶』 児 210 ヤ

山田康弘 著
縄文時代に作られた土偶。作られた
場所や時期によって、さまざまな形や
大きさのものがああります。土偶はどんな
ものなのか、どうやって作られたのかなど、
謎多き土偶を写真やイラストで紹介。



『野球しようぜ! 大谷翔平ものがたり』 え 783 ヤ

とりごえこうじ 文 山田花菜 絵
大谷翔平さんは アメリカで かつやく
している 野球せんしゅ。プロ野球
せんしゅになる ゆめが かなったあとも
ちょうせんを つづける 大谷さんの
これまでの みちのりを しょうかいします。



『かがくでなぞときどうわのふしぎ50』 児 404 カ

川村康文 小林尚美 著
北川チハル 童話
ブレーメンのおながくたい、3びきの
こぶた、かぐやひめなどのどうわのなか
には、ふしぎがいっぱい。お話にでてくる
ふしぎをかがくで読みといてみよう!



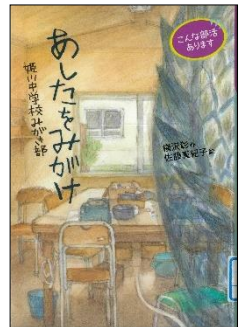
『きみとぼく』 え 913 タ

谷口智則 著
なかよしのぞうとねずみ。おおいきみと
ちいさいぼく。きみとぼくはぜんぜん
ちがう。きみはやさしいのに、ぼくは
ずるいことをしてしまう。きみはどこかに
いってしまい、さみしくなったぼくは…。



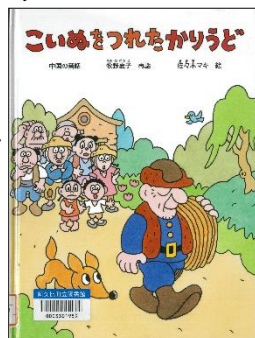
『あしたをみがけ』 児 913 ヨ

横沢彰 作 佐藤真紀子 絵
姫川中学校みがき部は、研磨機と
紙やすりを使って、海でみつけた石を
ひたすら磨く。中学校に入学して、
友だちを作りそびれてしまった灯可理は、
みがき部という部活があることを知り…。



『こいぬをつれた かりうど』 え 923 サ

牧野夏子 再話 佐々木マキ 絵
あるところに、としおいた かりうどが
いました。かりうどは てっぽうを もたず
かりに いくのに かならず えものを
もって かえってきます。あるひ、
とらたいじを たのまれた かりうどは
ごまあぶらで つるつるの こいぬと
なわを ひとたば もって やまに はいっていき…。



『あなたの言葉を』 児 914 ツ

辻村深月 著
「大人」になってよかった、と思うことは
「自分の言葉」で気持ちが伝えられる
ようになったこと。その時に感じていた
感情を心の中で整理して…さあ、一緒に
「あなたの言葉」を探しに行きましょう。
作家・辻村深月さんが自らの体験を元に
まっすぐに語りかけてくれるエッセイ集。

